

## 液状化被害建物の現地調査について

### 1. 調査目的

調査は、東日本大震災で液状化による被害を受けた建物を対象に、今後の液状化対策事業化に向けた対策方法の検討に用いる基礎資料を得ること及び液状化対策事業に対する住民の方の考え方、要望の把握を目的に実施します。

### 2. 調査対象地区

調査は、佐原市街地、利根川以北、小見川、府馬の各地区を対象に実施します。  
調査を実施する建物は、上記地区の中から建物の被害程度や構造形式、地盤状況等を考慮して選定します。

### 3. 調査期間

平成 24 年 10 月下旬～平成 24 年 11 月下旬

### 4. 調査項目

- ・ 建物諸元（構造形式、基礎形式、建築年など）
- ・ 被災状況（建物の沈下量、基礎や屋根等の変状）
- ・ 液状化対策事業についての考え方やご要望

### 5. 調査方法

- ・ 建物の構造や建築年及び液状化対策事業への考え方や要望については聞き取りにより実施
- ・ 建物の沈下量等については計測機器を使用して実施

## 6. 調査票

地区名	0		宅地地盤・建物の被災状況調査票（一般住宅）				
建物No.	調査順	丁目	番地	号			
家屋名称	調査可否	☑ 不可		不可の理由			
沈下修正工法							
建物構造 木造、RC、鉄骨、その他（ ）を記載→							
基礎構造 布基礎、ベタ基礎、独立基礎、その他（ ）を記載→							
建築面積 1F、2F、3F、4F、5F、その他（ ）を記載→							
被災原因 地震による直接損壊、液状化、地すべり等を記載→							
被災状況	地盤変状	クラック、段差等の状況を記載→					
	沈下量	建物平均めりこみ沈下量 (S <sub>p</sub> ) :	(mm)	罹災証明の判定結果 :			
		建物不同沈下量 (S <sub>D</sub> ) :	(mm)	罹災証明の値 (cm) :			
		建物平均絶対沈下量 (S <sub>A</sub> ) :	(mm)	罹災の傾斜 (X/1000) : 0.0			
		宅地地盤の平均沈下量 (e <sup>〃</sup> ) :	(mm)	調査年月日 :			
	傾斜	建物の傾斜(最大) :	/1000				
		建物の傾斜(平均) :	/1000				
	基礎	クラックの有無	mm	×	ヶ所		
外壁屋根	異常の有無及び状況 :						
建具	異常の有無及び状況 :						
外構	異常の有無及び状況 :						
見取り図、測量結果 BMは、前面道路 人孔等							
	建物基礎高 (mm)	1	測定値	BM-測定値	1'		
		2			2'		
		3			3'		
		4			4'		
		5			(建物基礎高-BM) ↑ の最高・最低値 を含む抽出値		
		6					
		7					
	道路高 (mm)	A					
		B					
		C					
	地盤高 (mm)	①					
		②					
		③					
		④					
		⑤					
		⑥					
		⑦					
	BM (mm)						
			測定結果を↑ そのまま表記				
	距離 (m)					震災前建物基礎高	(cm)
1'-2'	2'-3'	1'-3'	建物寸法				
3'-4'	4'-1'	2'-4'	調査年月日				

注) 敷地内地盤はクラックの位置、状況等を記録（幅、段差、深さ等）

宅地地盤・建物の被災状況調査票-2 (一般住宅)	
被災レベル	<input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 大規模半壊 <input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 一部損壊 <input type="checkbox"/> 基準未満の傾斜のみ <input type="checkbox"/> 無被害
地震時の状況	
噴砂の発生	有(地点 ) 無 不明 14:46 本震発生から( )分後 噴出量( ) 15:15 余震発生から( )分後 噴出量( )
家屋以外の被害	有( ) 無
引き込み管の被害	上水道被害 有( ) 無
	下水道被害 有( ) 無
宅地の造成状況	
盛土又は覆土	有(高さ m) 無
被災前の不同沈下	有( ) 無 不明
建物建設時における地盤対策実施について	
地盤改良	有(工法: ) 無
液状化対策	有(工法: ) 無
被災後の補修	
建物傾斜の補修	有(工法: ) 無
基礎の補修	有(工法: ) 無
外壁屋根の補修	有( ) 無
外構補修	有( ) 無
地盤対策の実施	有(工法: ) 無
液状化対策事業への考え方、要望事項	
対策事業の理解	<input type="checkbox"/> 知っている <input type="checkbox"/> 知らない <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> その他( )
対策事業実施要望	<input type="checkbox"/> 実施を強く要望 <input type="checkbox"/> 実施を要望 <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 実施は不要 <input type="checkbox"/> その他( )
対策への個人負担可能額	<input type="checkbox"/> 1000万円以上 <input type="checkbox"/> 500~999万円 <input type="checkbox"/> 300~499万円 <input type="checkbox"/> 100~299万円 <input type="checkbox"/> その他( )
要望事項	<input type="checkbox"/> 対策方法の情報提供 <input type="checkbox"/> 施工業者の情報提供 <input type="checkbox"/> その他( )
その他ご意見	

7.現地調査対象建物

表-1 調査対象（案）建物数量

地区	建物被災程度	全家屋数	調査対象家屋数
佐原市街地	全壊	21	15
	大規模半壊	405	42
	半壊	255	32
	一部損壊	74	17
	基準未満の傾斜のみ	4	4
	無被害	-	5
利根川以北	全壊	48	16
	大規模半壊	410	18
	半壊	543	24
	一部損壊	376	16
	基準未満の傾斜のみ	9	5
	無被害	-	5
小見川市街地	全壊	1	1
	大規模半壊	48	17
	半壊	74	21
	一部損壊	54	15
	基準未満の傾斜のみ	1	1
	無被害	-	5
府馬	全壊	4	2
	大規模半壊	26	7
	半壊	18	2
	一部損壊	29	4
	基準未満の傾斜のみ	1	0
	無被害	-	0
計			274